

「文化創造」きょうとチャレンジ

基本方針	地域文化を大切にするとともに新しい文化が生まれ続け、地域に活力を生み出す社会を、文化庁が本格移転する京都から進める
到達目標 (数値目標の候補)	<ul style="list-style-type: none"> ■若手アーティスト（40歳以下）を対象とした府内のアートフェア等に参加するアーティスト数を●人に増加させる (2018年度：108人) ■府内のアートフェア等における販売額を●万円に増加させる (2018年度：2,515万円) ■文化・芸術に関わりを持つ（鑑賞・体験含む）人の割合を●%にアップさせる (2018年度京都府文化施策に関する府民意識調査：57.8%) ■「歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人」の割合を●%にアップさせる (府民意識調査 2018年：80.9%)
主な重点・新規方策	<ul style="list-style-type: none"> ■ミュージックキャンプ・府民総合奏 府内各地でミュージックキャンプを開催し、その成果を府立京都スタジアムで発表し、音楽の裾野を拡大します。 ■障害者アート創造・発信プロジェクト ▶文化芸術活動を行う障害者のアート作品を様々な機会を活用して販売したりポストカードとして商品化するなどの取組を進めます。 ▶障害者アートについて、新しい作家の発掘を含め、その創作活動とともにデジタルにより記録・保存し、広く国内外に発信します。 ▶きょうと障害者文化芸術推進機構と府内の芸術大学とのコラボレーションによる作品展等を開催します。 ■京都国際アートフェア 世界で活躍する一流アーティストの作品や京都と世界のクラフトを一堂に鑑賞、販売できる機会を提供し、日本の現代アートの価値向上やクラフトの世界展開を後押しします。 ■地域文化次世代情報発信・体験拠点 VR、AR等を活用した地域の文化資源を体験できる文化発信・観光まちづくりの拠点を整備します。 ■堀川アート&クラフトセンター(仮称) クオリティーの高い多様なイベントの展開により、アート&クラフトの創造・発信を強化します。 ■北山エリア「シアターコンプレックス」 旧総合資料館跡地を活用し、様々な規模の劇場等が集積したシアターコンプレックスを整備します。 ■京の文化継承・価値創造推進校 府立高校において、地域文化のフィールドワークや着物の着付けなどの体験活動に加え、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食について学ぶ授業、留学生との交流における宇治茶の呈茶、京野菜を使った新しいレシピの提案など、京都の本物の文化を次世代に継承し新たな価値を生み出す取組を進めます。 ■文化財保存・活用促進プロジェクト ▶社寺等の文化財において地域の特色を生かした文化に親しむ取組を支援するなど、文化財に親しむ機会を増やすことで、保存に対する認識も高まるという、文化財の「保存」と「活用」の好循環を生み出します。 ▶文化財の公開等を支援する、文化財の専門知識を有した人材を養成します。 ▶文化財の高精細画像化やVR・AR等の利用を図り、観光・教育資源として活用するほか、関西文化学術研究都市において、触れることのできるクローン文化財の展示・作製の拠点を整備し、アジアの文化財センターをめざします。 ■地域文化継承プロジェクト 文化庁と連携し、暮らしの中に息づく伝統文化や生活文化を守り伝えるため、地域の祭りや伝統芸能の担い手確保に向け、大学生など外部人材の活用の仕組みを創設します。

施策体系図

※ここでは、府の主な方策に加えて「文化創造」の京都をめざし、府民や企業、文化・芸術関係者等の方々とともに取組を進めたい事項も記載しています。

